

全業種総合

回答企業数290企業（回答率100.00%）

概況

～総合的業況判断DI値 やや悪化で推移～

総合的業況判断DI値は、前期比4.1ポイント低下の▲6.2とやや悪化となった。

業種別での業況判断DI値は、飲食業が21.1ポイント上昇の57.9、小売業は1.1ポイント上昇の▲2.2、建設業は5.2ポイント低下の▲5.2、サービス業では19.0ポイント低下の▲7.1、卸売業が10.4ポイント上昇の▲17.2、製造業は18.7ポイント低下の▲28.1、不動産業も22.2ポイント低下の▲33.3、運輸業は10.0ポイント低下の▲40.0となった。3業種が改善し、5業種は総じて悪化となった。飲食業がDI値プラスで推移した。

～経営上の問題点～

業種全体で「材料仕入価格の上昇」151先、「売上の低迷・減少」88先、「人員不足」87先、「経費の増加」66先、「利幅の縮小」57先と上位を占めた。

前回調査比、「材料仕入価格の上昇」は2先増加、「売上の低迷・減少」は2先減少、「人員不足」が5先減少、「経費の増加」は11先減少、「利幅の縮小」は8先減少となった。

設備投資計画では、「予定あり」とした企業が31先、前期比7先減少、設備投資実施予定割合は10.7%と前期比2.4%減少した。業種別では、運輸業（土地・建物・機械）20.0%、サービス業（土地・建物・機械等）16.7%、製造業（土地・建物・機械）15.6%、不動産業（建物）11.1%、飲食業（建物・機械）10.5%、卸売業（土地・建物・機械）10.3%、建設業（建物・機械・その他）8.6%、小売業（建物・機械・その他）6.6%であった。

資金繰りDI値は、前回調査比1.4ポイント減少の▲11.7とやや悪化、今期借入した企業は21.7%と前回調査時（17.9%）より3.8%増加となった。

来期の見通し

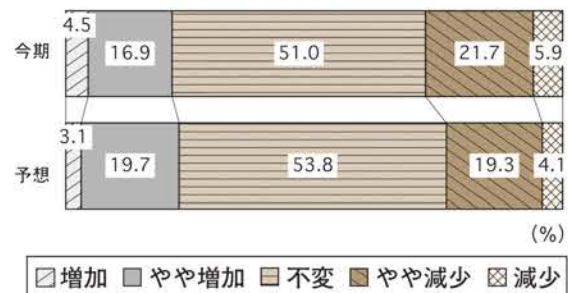
～総合的業況判断DI値 やや改善の見通し～

各業種の見通し業況判断DI値は、今回調査比5.5ポイント上昇の▲0.7とやや改善の予想となった。

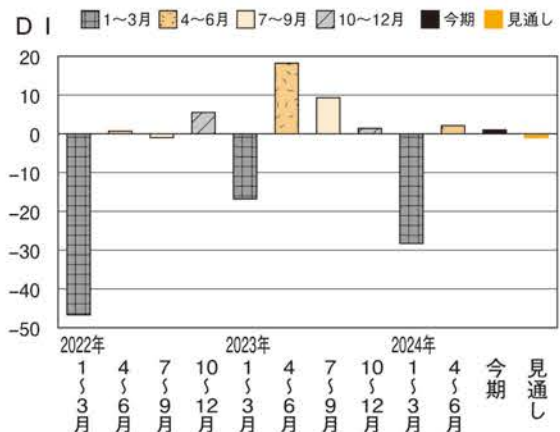
業種別では、運輸業が70.0ポイント上昇の30.0、卸売業は27.5ポイント上昇の10.3、建設業も12.1ポイント上昇の6.9、飲食業は52.6ポイント低下の5.3、小売業は横ばいの▲2.2、サービス業でも横ばいの▲7.1、製造業は18.7ポイント上昇の▲9.4、不動産業では22.3ポイント低下の▲55.6となり来期の見通しは4業種が改善し、2業種が悪化、2業種が横ばいとなった。

今期資金手当てした先が21.7%、今後資金手当て等借入を予定している先は17.6%となっている。

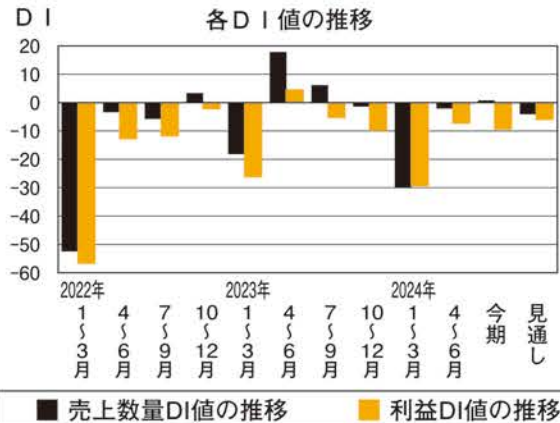
業況判断（全業種）



売上・受注DI値の推移



各DI値の推移



設備投資計画の有無

